

政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策③ 生活の基盤となる町内産業の持続発展

関連するSDGs

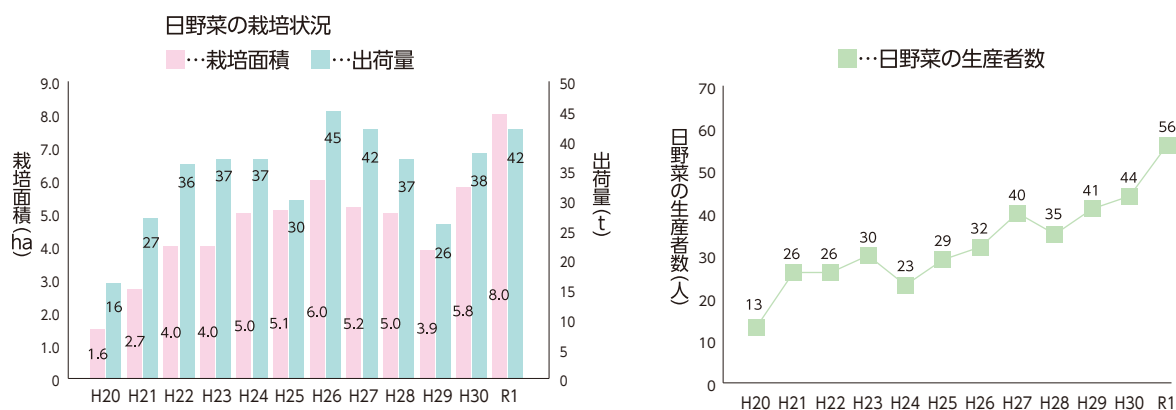


めざす姿

多様な農業経営体を育成し特産農産物をはじめとする地域農業の安定と、身近に「農」のある暮らしができるまち

課題

- 高額な設備（機械）投資、農地の取得が容易でないこと、時間と手間と比例して利益を出すことが難しいこと等から、農業従事者は減少しています。また、農業に魅力を感じられない若者が多く、新規参入者が少ないことから高齢化が進んでいる状況です。担い手となる集落営農組織や認定農業者の育成、後継者確保をはじめ、環境に配慮した農地や水路等の保全・維持管理、耕作放棄地や相続放棄地対策を図っていく必要があります。また、獣害対策については、これまでから捕獲や柵の設置等、対策を実施してきましたが、ニホンジカやイノシシ、ニホンザル等による被害が続いているため、新たな対策が求められています。
- 農業所得の向上につながる地域農畜産物の付加価値向上への取り組みが定着されておらず、原産地野菜をはじめとした地域ブランド化の取り組みや、安定的な生産・供給体制、販路開拓への支援が求められています。
- 社会経済の変容により、食文化や食糧自給率の低下等が懸念されるなかで、食の安全や安心が求められています。また、学校給食等を通じた食育の取り組みを図っていく必要があります。



基本施策① 農業の持続的発展

安定的な経営体として認定農業者や農事組合法人等多様な経営体の育成や普及団体等との連携を行い、地域農業の生産体制を確立するとともに、農業者だけでなく集落全体の取り組みにより、集落機能の持続発展と、生産基盤である農地の保全・維持管理を支援します。

また、有害鳥獣被害対策協議会等と連携した有害鳥獣の駆除や地域における被害対策の知識普及や指導助言等による有害鳥獣被害の低減に対する支援や獣肉の利活用をはじめ、安心で安全な農畜産物の生産、農家と非農家が連携した農地水環境保全や温暖化防止等環境に配慮した農業が盛んなまちを目指します。

【主な取組】 ●農地の保全・維持管理への支援 ●農業経営・担い手育成への支援
●獣害対策の推進 ●畜産振興の推進 ●環境に配慮した農業の促進

基本施策② 農業生産・特産品の振興

原産日野菜や近江牛、近江米、北山茶をはじめとする特産品や地場産農畜産物の品質向上と地域ブランド化による付加価値を見出し、安定かつ計画的な生産等が行われる農業を支援します。

また、特産品の振興に向け、生産者や関係機関、関係団体との情報共有等の連携を図ります。

【主な取組】 ●農業生産・特産品の振興

基本施策③ 地域内消費の推進

地域で生産された農畜産物を地域で消費できるように、学校給食や直売所、地元商店等への地場農畜産物の供給による自給率向上の取り組みをはじめ、学校等での食育学習等を通じて、食の大切さと、安全で安心な食文化のあるまちを目指します。

また、家庭菜園等を通じた「農」にふれあう機会づくりを推進します。

【主な取組】 ●食育・地産地消の推進

指標（めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値）

	指標	基準値（R2見込み）	目標値（R7）	目標値（R12）
①	日野菜出荷量	42t	56t	70t
②	人・農地プランの作成集落数	21集落	25集落	30集落

【関連する個別計画】

- 日野農業振興地域整備計画 ●東近江地域鳥獣被害防止計画
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 ●農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます！

- 農地を守っていけるか心配だ。 ●野菜や米の食体験をしていくことも良いと思う。
- 集落営農の取り組みで若い人に楽しく農業に出てもらい、農業の後継者を作っていくことが必要だと思う。
- 日野が誇る日野菜の積極的なPRを進め、生産者や後継者への支援を行っていくことが必要だと思う。
- 原産日野菜をはじめとする特産品を全国に広めたい。



10

森林・林業

政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策③ 生活の基盤となる町内産業の持続発展

関連するSDGs

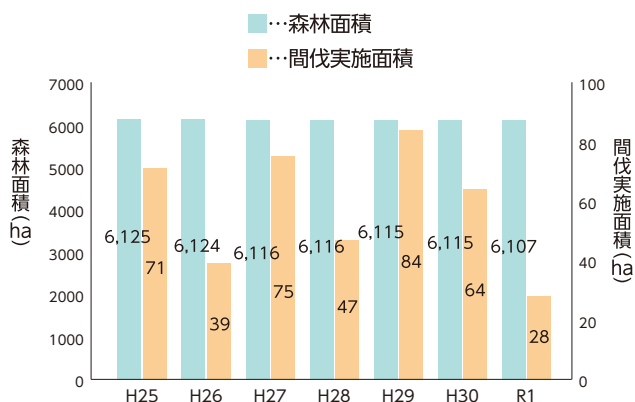


めざす姿

森林や里山が保全され、豊かな森林資源の循環が可能なまち

課題

- 輸入木材の流通による、木材価格の低迷により奥山は森林所有者の森林離れが進んでいます。里山については、生活様式の変化により荒廃が進んでおり、有害鳥獣の住処となっています。また、世代交代等により、境界が不明な森林が増加し、森林の適切な管理がされていない状況であり、森林の境界明確化や林道・作業道の整備等、森林整備を促進することが必要です。
- 戦後、植林された人工林等が利用可能な時期になっていますが、利用されずに放置されている状況であり、森林資源の利活用を促進していく仕組みの確立が必要です。



間伐の様子

基本施策① 林業の振興

林業振興と森林の保全、適正管理のため、治山事業や林道・作業道整備等の生産基盤整備を進めるとともに、不明となった森林の境界明確化、施行集約化や担い手の確保、育成等を促進します。

また、里山については集落とも連携し景観や獣害被害対策と一体的な里山整備を推進します。

【主な取組】 ●林業の振興 ●森林整備の促進

基本施策② 森林資源の利活用と森林保全

森林資源の多様な活用として公共施設等への地域産材の利用推進や森林環境学習に取り組むとともに、再生可能エネルギーの普及や木質バイオマスの利用促進を図ります。

また森林のもつ水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化や災害の防止などの多面的機能が発揮されるよう森林保全事業を推進します。

森林環境譲与税の活用や森林保全事業による雇用創出を支援します。

【主な取組】 ●木材の利活用 ●森林資源の利活用 ●森林保全

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	森林境界明確化実施面積	50ha	90ha	150ha

【関連する個別計画】

●日野町森林整備計画 ●日野町集約化推進計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 里山保全について、他の地域で実行していることを互いに勉強すると思う。
- 日野には豊かな自然環境があるということを町内外へ情報発信し、地域が主体となって保全活動を行っていくことが必要。
- 子どもの頃から自然にふれあう学習機会を提供してほしい。
- 手の入らなくなった里山の整備を進め、獣害を減らしてほしい。



木材の搬出



町産材等を活用した園舎改築(こばと園)



政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策③ 生活の基盤となる町内産業の持続発展

関連するSDGs

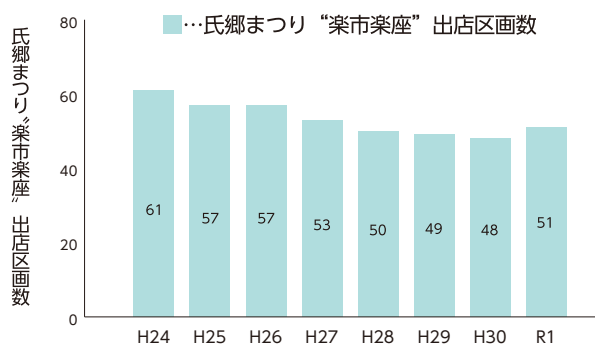
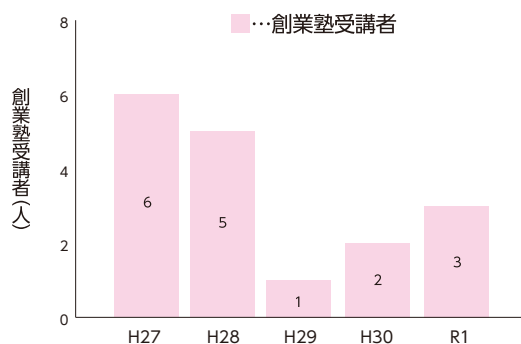


めざす姿

地元企業が持続的に発展し、地域内経済循環のなかで
多様な創業と事業承継があり、地域経済の活力あふれるまち

課題

- 町の総合的な発展のため、企業の持続的発展が期待されています。
企業の地域貢献の取り組みや地域と連携した施策が必要です。
- 企業の事業内容が浸透しておらず、企業間や企業と住民の立場で応援しあえる関係を築けていません。地元企業が身近な存在となるよう町内に周知していく必要があります。
- 商工会により、企業に応じた経営指導や経営診断が行われていますが、後継者問題への対策や町内での消費喚起をより一層促進していく必要があります。
- 町なかでは個店を中心に新たな店舗ができ賑わいが生まれました。今後も創業支援制度の拡充や創業後の経営相談等の支援が必要です。
また、商工業を持続的に発展させるため、事業承継を進めていく必要があります。



氏郷まつり“楽市楽座”



企業・事業所代表者と町長との懇談会

基本施策① 町内産業の持続的発展

町内産業と企業の持続的発展のために必要な施策の研究、検討を進めます。
企業の地域貢献活動や地域の課題解決に企業が協力する地域連携事業を促進します。

【主な取組】 ●企業の持続的発展のための支援と企業の地域貢献活動の促進

基本施策② 地域内経済循環の促進

企業懇談会等で企業間交流を進めるとともに、イベント等を通して企業のPRに取り組み、地域内経済循環を促進します。

【主な取組】 ●地域内経済循環の推進 ●企業間交流

基本施策③ 経営基盤の強化

時代の変化に対応し、商工会を中心とした経営基盤を強化するための経営指導や相談を充実します。また、地域需要の拡大のため、魅力ある商店・商店街づくりと後継者の育成を支援します。

【主な取組】 ●商工会への支援 ●各種支援制度、融資制度、経営相談の充実

基本施策④ 多様な創業と事業承継

創業支援制度の拡充と地域資源の活用、或いは様々な価値観に応える創業を促進し、創業後も商工会と連携した経営相談に積極的に応じます。

また、事業承継や第二創業が進むよう商工会等の関係機関とともに支援します。

【主な取組】 ●創業・コミュニティビジネスへの支援 ●事業承継等の推進

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(H27～R1の平均)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	創業者数	2人	3人	5人
②	創業塾受講者数	3人	5人	7人

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 高齢者が安心して買い物できる商店街の活性化を維持してほしい。
- 地元企業のネットワークを活かし、起業などチャレンジしたい人を支援していく取り組みが必要。



12

企業・新産業の誘致

政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策③ 生活の基盤となる町内産業の持続発展

関連するSDGs

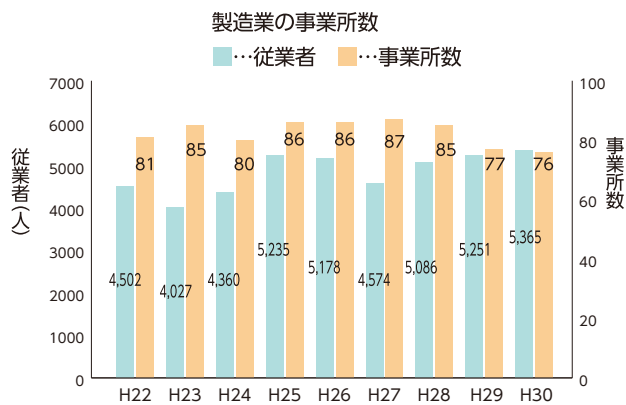
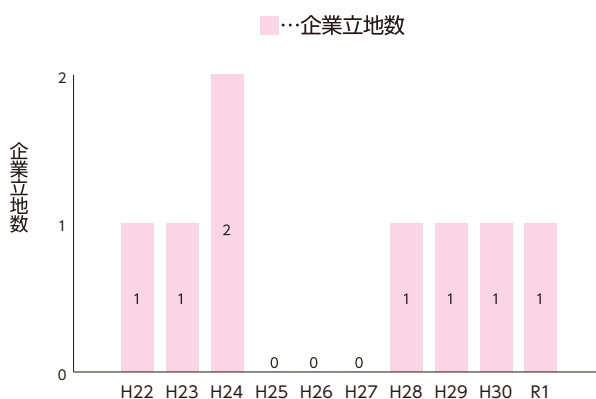


めざす姿

地元を育て世界に発信する企業・新産業の誘致と、
起業の創出により、安定して仕事のあるまち

課題

- 企業立地促進条例による優遇策を周知しながら未利用工場用地への企業誘致を進めていますが、未利用工場用地が僅かとなっており、新たな工場用地が必要です。
- 町内産業の持続的発展と併せて、新たな産業分野の誘致が必要です。



※工業統計調査による (H27 年のみ経済センサス活動調査)

基本施策① 企業誘致

引き続き、企業立地促進条例による優遇策を講じ、未利用工場用地への企業誘致を進めるとともに、新たな工場用地の確保に取り組めます。

また、進出企業による社会的責任 (CSR) 活動等の地域連携を推進します。

【主な取組】 ●企業誘致の推進と工場用地の確保

基本施策② 新産業の誘致

時代の変化に対応した起業や新しい優位性のある産業創出に努めるとともに、新たな産業分野の企業が進出できるよう企業立地にかかる優遇制度の拡充を検討し、誘致を進めます。

【主な取組】 ●新たな産業分野の誘致と創出

指標 (めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値 (R2見込み)	目標値 (R7)	目標値 (R12)
①	新規企業立地数	1件	基準値+2件	基準値+5件
②	企業用地区画数	2件	基準値+0件	基準値+8件

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 企業誘致に力を入れることで、まちが活性化する。
- 地元企業の魅力が発信されることで、若い人の採用につながってほしい。
- IT産業など工業以外の企業誘致も積極的に進めていくことが必要。



町内企業



町内企業が製造した自動倉庫



町内企業の工場の様子



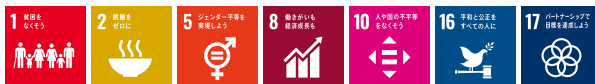
13

雇用・労働環境

政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策③ 生活の基盤となる町内産業の持続発展

関連するSDGs



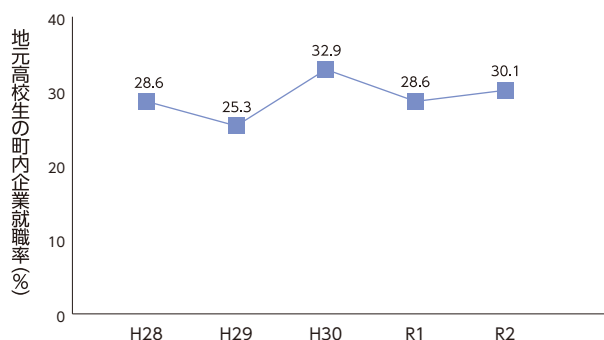
めざす姿

だれもがいつまでも働ける安心と生きがいの職場環境があるまち

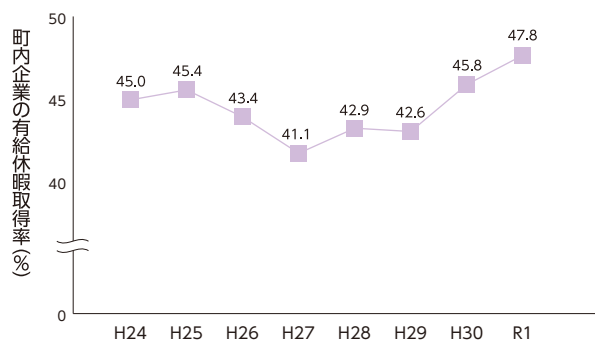
課題

- 新規学卒者をはじめとした若者、子育てしながら再就職を目指す女性等を含め、就労を希望する方の雇用につながる就職情報の提供等をより一層充実させる必要があります。また、定年退職後の世代の方が年齢に関わらず地域で活躍できる雇用に繋げることが必要です。
- 誰もが働きやすい労働環境となるよう、各企業・事業所に対して新たな労働法制を周知し、労働環境の向上に向けた啓発を強化していく必要があります。

■…地元高校生の町内企業就職率



■…町内企業の有給休暇取得率



基本施策① 雇用環境の充実

職業安定所等関係機関と連携し、町内企業の雇用促進と、新規学卒者をはじめとした若者等求職者の希望が叶うよう雇用機会の拡充を図ります。また、女性の再就職の支援事業にも取り組みます。

定年退職された方が現役時代に培った知識等を活用して地域で活躍できるようシルバー人材センターの活動を支援します。

【主な取組】 ●町内雇用の促進 ●ニーズの把握と就労相談 ●雇用機会の拡充

基本施策② 労働環境の向上

商工会等関係機関と連携し、企業訪問等の機会を通して、労働にかかる新たな制度や取り組みを推進するとともに年齢、性別、就労形態等に関わらず多様な人材が活躍できる労働環境づくりに取り組みます。また、勤労者互助会を通して勤労者福祉の向上に努めます。

【主な取組】 ●労働環境の充実 ●勤労者福祉の向上 ●新たな働き方への対応

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	地元高校生の町内企業就職率	28.6%	32.0%	34.0%
②	町内企業の有給休暇取得率	47.8%	49.0%	50.0%
③	町内企業に勤務する従業員のうち町内居住者の割合	24.2%	25.0%	26.0%

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 働き方を柔軟化し、だれもが働ける環境を作ってほしい。
- 移住者が働きやすい環境をつくっていくとともに、地域の女性や高齢者の積極的な雇用を促進していくことが必要。
- 若者や女性、外国人など、いろんな人にとって日本一働きやすいまちになってほしい。



新規学卒者就職者セミナー



町内立地企業の就業現場の様子



14

観光振興

政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策④ まちの魅力を活かした賑わいの創出

関連するSDGs

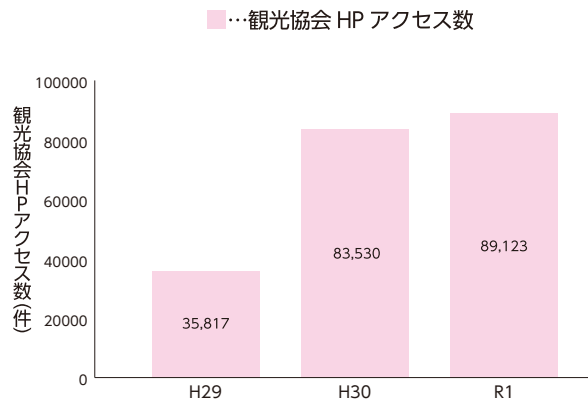
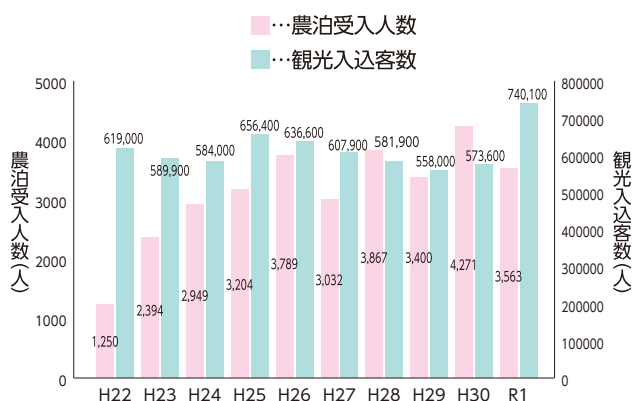


めざす姿

町民自らがまちのたからに誇りを持ち、その魅力を楽しみながら、賑わいとおもてなしの心で来訪者を迎えるまち

課題

- 従来からの観光の情報発信に加え、SNSを中心に魅力ある観光情報を広く発信していくことが必要です。また、観光施設と町なか観光、観光面と商業面が連携した取り組みが必要です。
- 町内の自然・環境、農林商工業、史跡、伝統文化や観光施設等を活用した体験プログラムを充実させ、誘客を一層進めていくことが必要です。



栈敷窓アートの様子



日野祭

基本施策① 誘客宣伝の推進と受入体制の整備

「まちのたから」を観光資源として活かした魅力ある事業展開と、時代の変化に対応した情報手段を効果的に活用した町の魅力の発信により、新たな観光誘客と関係人口の増加に向けて取り組むとともに、町民が誇りをもって、まちの魅力を楽しみ、観光ボランティアガイド等に参加をし、おもてなしの心で、観光ガイド等の観光受入体制を充実させます。

また、観光の情報発信や商業面との連携により観光客をまちぐるみで受け入れる風土づくりに取り組みます。

【主な取組】 ●まちぐるみでのおもてなし ●観光人口・関係人口の創出

基本施策② 地域資源を活用した観光振興

町の自然や町並み、そこに息づく文化や暮らし等の地域資源を活かした魅力ある体験プログラムの創出に取り組みます。

また、「三方よし!近江日野田舎体験」などの都市農村交流の取り組みを促進します。

【主な取組】 ●地域資源を活かした観光の推進 ●体験型観光の推進

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	農泊受入人数	3,563人	4,000人	4,500人
②	観光入込客数	740,100人	777,000人	815,000人
③	観光協会HPアクセス数	89,123件	100,000件	110,000件

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 町外からの来訪者をおもてなしの気持ちで迎え、まち全体で民泊を楽しみたい。
- 日野の豊かな歴史文化資源の魅力を町内外へ発信し、来訪者を増やしていくことが必要だ。



三方よし!近江日野田舎体験



15

地元商工業の振興

政策の柱2 暮らしを支えるしごとづくり

政策④ まちの魅力を活かした賑わいの創出

関連するSDGs

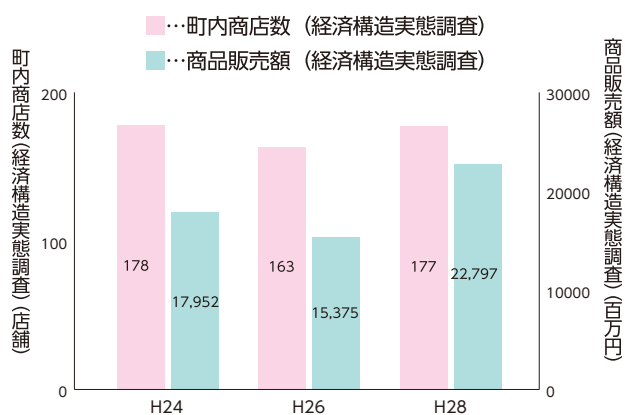


めざす姿

まちの魅力を感じ、町民の暮らしが地元商工業を支える
地産地消(地商)で、あきないと交流を楽しむ文化・風土を育むまち

課題

- 人やモノの流れの変化と町内商店の減少により、地域住民の消費行動は町外や大型店・チェーン店に流れているため、地元商工業の活性化策や事業承継等、町内産業を発展・持続していくための対策が必要です。
- 町民の日常の暮らしの消費が町内で広がるよう、魅力ある商店づくりと情報発信を一層進めていく必要があります。



商店街の様子

基本施策① 地元商工業の振興

町民の暮らしにある日々の消費が地元商工業の振興につながり、町の賑わいを育むよう、商工会等と連携して商店や商店街の魅力を高めるための支援や指導を推進します。

また、事業承継施策を商工会等の関係機関と進めるとともに、あきないを通じた交流を楽しむ風土づくりに取り組みます。

地元商業の振興につながるふるさと応援寄附（ふるさと納税）の取り組みを推進します。

【主な取組】 ●商工業の活性化 ●商工会等の関係機関との連携

指標（めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値）

	指標	基準値	目標値(R7)	目標値(R12)
①	商工会会員数	R1:527件	535件	540件
②	町内商店数 ※「経済構造実態調査」から	H28:177店舗	180店舗	185店舗
③	商品販売額 ※「経済構造実態調査」から	H28:22,797百万円	24,000百万円	25,000百万円

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます！

●商工会が元気になって、地産地消地商で地元商店での買い物を推奨しよう。



日野ひなまつり紀行



栈敷窓アートの様子



16

地域福祉

政策の柱3 安心、助け合いの暮らしづくり

政策⑤ 健やかで思いやりのある地域共生社会の形成

関連するSDGs



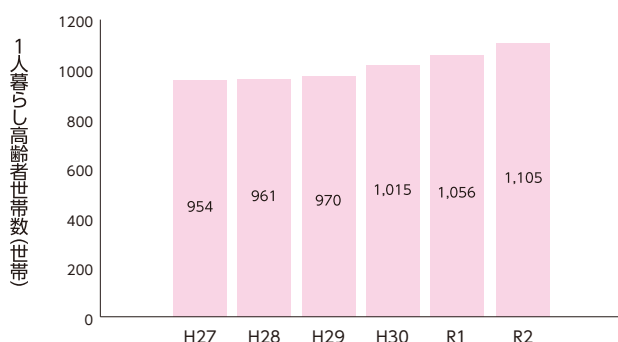
めざす姿

福祉制度の枠組みを超えて、地域の住民みなで「おたがいさま」の気持ちで参画し、だれもが役割と生きがいのもてるまち

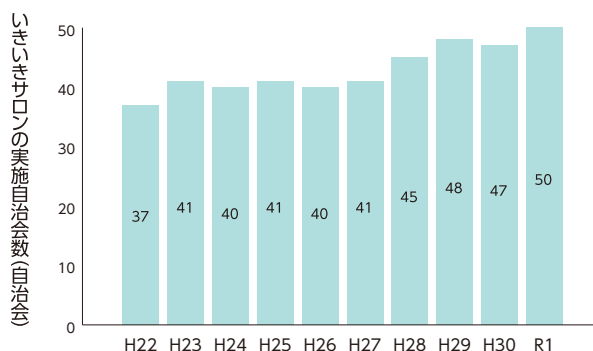
課題

- 高齢化と人口減少から地域福祉の担い手不足が予想されるため、人材の発掘と育成が必要です。8050問題等、家庭の抱える問題は個々に複合化しています。問題を深刻化させないためには、孤立・孤独を防ぎ、生きがいにつながるような社会参加のしくみを作る必要があります。住み慣れた地域で暮らし続けていくため、地域全体で支え合う仕組みづくりが必要です。

…1人暮らし高齢者世帯数



…ふれあい・いきいきサロンの実施自治会数



民生委員・児童委員の皆さんの活動の様子



東桜谷移動支援事業おたすけカゴヤ



いっぴくサロン(高齢者交流サロン)

基本施策① 地域福祉の充実

地域全体で支え合いを進めるため、地域の民生委員・児童委員とともに、日野町社会福祉協議会、社会福祉法人、医療法人、NPO等の民間事業者等との多様な連携を行い、福祉事務所やハローワーク等の関係する行政機関とも一体となって、住み慣れた地域での暮らしを支援する体制をつくります。

また、災害時に地域で助け合うことができるよう、地域の方々とともに、一人で避難行動をとることができない災害時要支援者の情報の共有を進めます。

- 【主な取組】 ●支え合いの仕組みづくりの促進 ●災害時要支援者の情報の共有
●生活困窮者への自立支援

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	いきいきサロンの実施自治会数	50自治会	52自治会	53自治会
②	民生委員・児童委員の相談支援件数	1,400件	1,450件	1,500件
③	生活困窮者自立支援新規相談件数	12件	14件	16件
④	ひきこもりの居場所づくり	2か所	3か所	3か所
⑤	公民館単位の協議体設置数	1か所	6か所	7か所
⑥	地域支え合い活動に取り組む団体数	2団体	12団体	22団体
⑦	高齢者交流サロン開催団体数	14団体	24団体	34団体

【関連する個別計画】

- 日野町地域福祉計画 ●日野町高齢者福祉・介護保険事業計画
- 日野町健康づくり・食育計画 ●日野町子ども・子育て支援事業計画
- 日野町障がい福祉計画(日野町障がい児福祉計画)
- 日野町地域福祉活動計画(日野町社会福祉協議会)
- 日野町障がい者計画 ●日野町いのちと生活を守るネットワーク計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 各字で幅広い年齢層のサロンを開催して交流する。
- 親しく話ができ、大きな声で笑えるような場所がほしい。
- 近所づきあいが希薄化しているので、あいさつや声掛けで人のつながりを強くしていくことが大切だと思う。
- 困っている人が取り残されないよう、地域みんなで助け合うことが必要。



17

健康・医療

政策の柱3 安心、助け合いの暮らしづくり

政策⑤ 健やかで思いやりのある地域共生社会の形成

関連するSDGs

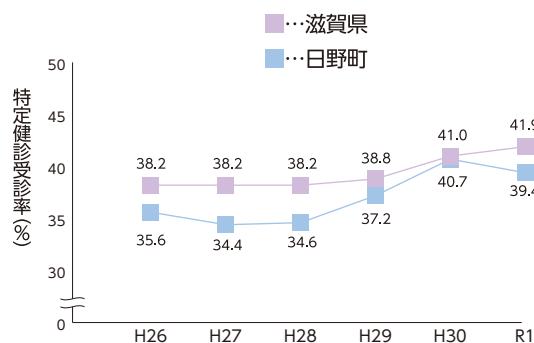


めざす姿

健康づくりと病気の予防に取り組み、だれもが生涯にわたり、からだもこころも健康でいきいきと暮らせるまち

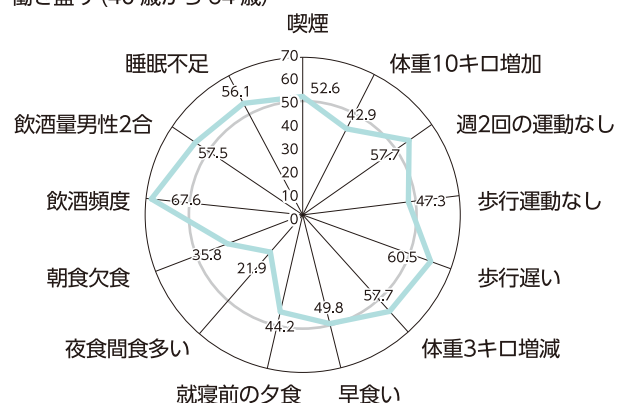
課題

- 社会情勢や生活環境の変化により、生活習慣病が増えている状況のなか、子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることや、健康意識が低くなりがちな働く世代を含めた住民の健康意識を高め、生涯にわたり継続した健康づくりに取り組むことが必要です。
- 医師の確保と地域医療を守ることが求められるなかで、医療機関や関係機関との連携を進めるとともに、病院や診療所、薬局における身近な「かかりつけ」を持つことが必要です。

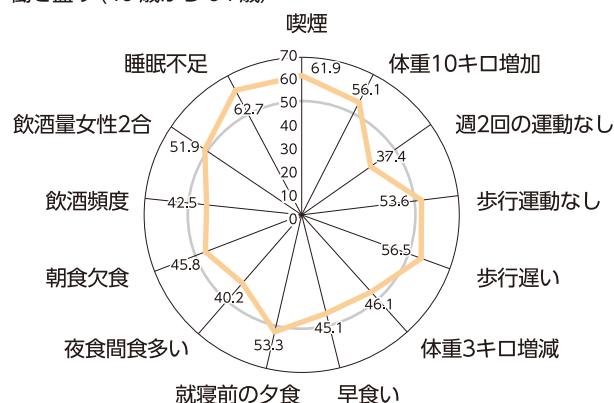


ラジオ体操講習会

男性
働き盛り (40 歳から 64 歳)



女性
働き盛り (40 歳から 64 歳)



生活習慣リスク

— この県の市町の平均は 50

基本施策① 健康づくりの推進

健康でいきいきと地域で暮らし続け、自分らしい生活を送ることができるよう、住民の健康意識を高めるとともに、関係機関との連携を図り生涯にわたって継続した健康づくりに取り組めます。

- 【主な取組】 ●食育の推進 ●心身の健康づくりと健康意識の向上
●地域での健康づくり活動の推進 ●運動・スポーツ活動の啓発
●健康相談と支援の充実 ●多職種や関係機関の連携 ●感染症の予防

基本施策② 身近な医療機関との連携

住民一人ひとりが病院や診療所、薬局における「かかりつけ」を持つ意識を高められるよう地域での啓発と医療機関等との連携に取り組めます。

- 【主な取組】 ●保健と医療との連携 ●医療機関等との連携

指標（めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値）

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	食育に関心をもつ住民の割合	67.1%	68%	70%
②	特定健診受診率	39.4%	39.9%	41.4%

【関連する個別計画】

- 日野町健康づくり・食育計画
- 日野町国民健康保険 保健事業実施計画（データヘルス計画）及び特定健康診査等実施計画
- 日野町高齢者福祉・介護保険事業計画 ●日野町地域福祉計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます！

- 地元食材での食育は、健康づくりや地産地消、郷土愛を育むことにつながるので、すすめたい。
- 地域ぐるみでウォーキングなどの健康づくりと子どもの見守り活動を一緒にやれば一石二鳥になる。
- 運動・スポーツを通じて、楽しみながら健康づくりをすることがいいと思う。



お口の健康チェック



出前講座（食から始める健康づくり）



野菜の計量体験



18

高齢者福祉

政策の柱3 安心、助け合いの暮らしづくり

政策⑤ 健やかで思いやりのある地域共生社会の形成

関連するSDGs

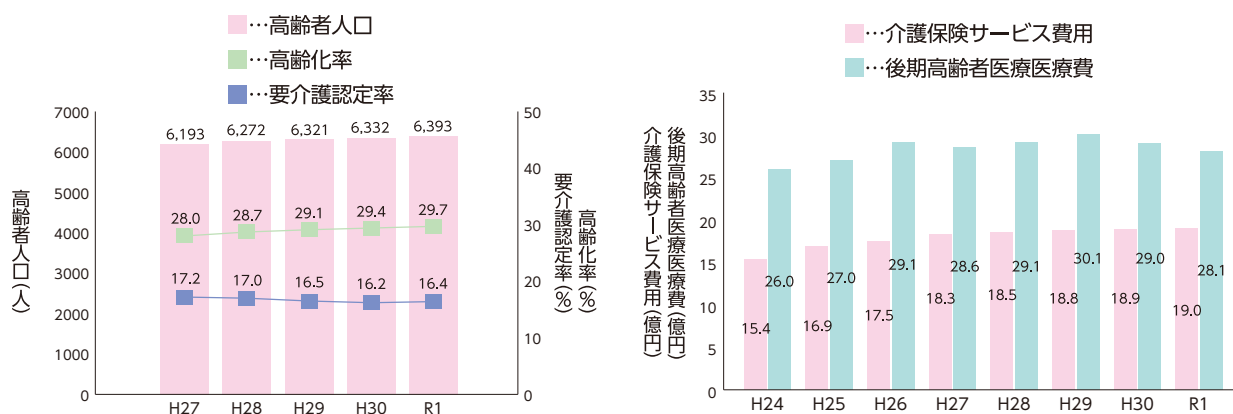


めざす姿

高齢になってもだれもが住み慣れた地域で
自分らしく役割と生きがいをもって、暮らし続けることができるまち

課題

- 高齢者への支援を介護サービスだけで捉えるのではなく、本人を中心とした医療介護と多職種の連携による総合的な支援を行うことが必要です。
- 介護予防を単なる重度化防止として捉えるのではなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりと一体となった取り組みを進めることが必要です。
- 誰もが認知症になる可能性があるなかで、認知症を我が事として捉え、認知症になっても自分らしく日常生活を過ごせるための仕組みづくりが必要です。



おたっしや教室 (転倒予防教室)



男性のための運動教室



まちづくり出前講座 (認知症キャラバンメイトとともに)

基本施策① 高齢者支援の仕組みづくり

地域包括ケアシステムの構築に向け、医療・介護それぞれの取り組みを進めるとともに、両者の連携を深めます。

また、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援に取り組めます。

- 【主な取組】 ●介護保険制度の運営 ●医療と介護の連携 ●総合的な相談支援
●高齢者虐待防止・権利擁護 ●高齢者の医療費助成

基本施策② 介護予防の推進

社会参加の視点を重視し、高齢者の生きがいづくりや健康づくりと一体となった介護予防の取り組みを進めます。

- 【主な取組】 ●高齢者の生きがいづくり ●健康づくりと介護予防の一体化

基本施策③ 認知症の人と家族への支援体制の推進

認知症になっても個人の尊厳が守られ、自分らしく安心して暮らし続けられる地域での場づくりや見守り体制、相談できる体制をつくります。

- 【主な取組】 ●認知症の人と家族が望む暮らしづくり

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	高齢者への相談対応件数	1,400件(見込)	1,800件	2,200件
②	高齢者交流サロン開催団体数【再掲】	14団体	24団体	34団体
③	介護予防ボランティア養成数(延べ)	319人	385人	450人
④	認知症キャラバンメイト数	48人	75人	100人
⑤	認知症サポーター養成講座修了者数(延べ)	7,500人(見込)	9,500人	11,500人

【関連する個別計画】

- 日野町高齢者福祉・介護保険事業計画 ●日野町地域福祉計画
●日野町健康づくり・食育計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 医療機関と介護事業所との連携を強化して、健康維持に向けてさらなる取り組みを進めていくことが必要。
●高齢になっても、いきいきと活躍できる場や笑い合えるような地域の居場所がほしい。
●認知症になっても、不安なく過ごせる地域づくりが大切。



19

障がい福祉

政策の柱3 安心、助け合いの暮らしづくり

政策⑤ 健やかで思いやりのある地域共生社会の形成

関連するSDGs

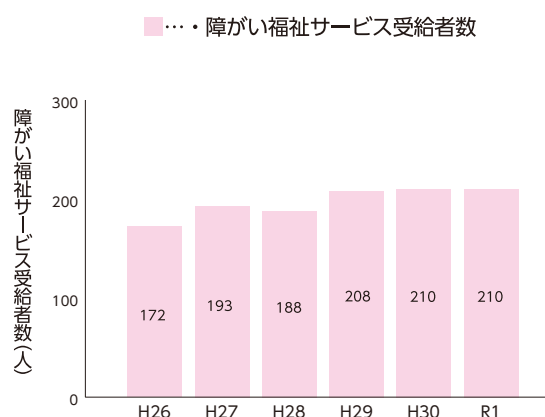
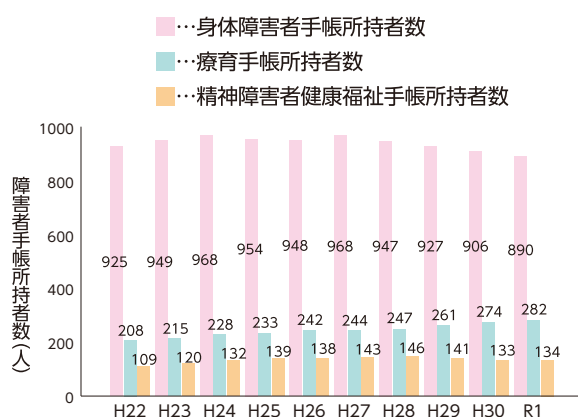


めざす姿

障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し合い、人として尊厳が守られともに生きることができるまち

課題

- 障がいのある人とない人が、お互いに障がいの有無にとらわれず、支え合いながら社会でともに暮らしていくことが日常となるように、理解促進に取り組む必要があります。お互いに共生する社会の実現が求められています。
- 障がいの重度化や、障がいのある人の高齢化が進むなかで、病院や施設ではなく、地域で自分らしく生活したいという気持ちから、地域で生活を営むための仕組みづくりが求められています。障がいのある人が、地域で安心して日常生活を過ごすには、障がい福祉サービスをはじめとしたサポートだけでなく、地域の見守り等も必要です。さらに地域生活のためのサービス需要等が増えることから、担い手不足の解消にも取り組む必要があります。



基本施策① 障がいと障がいのある人への理解促進

障がいへの理解を進めるため、広報・啓発を行うとともに、障がいのある人とない人が社会でかかわり合うなかで、障がいのある人が自分らしく暮らし、社会参加していける仕組みづくりを進めます。

【主な取組】 ●障がいへの理解促進 ●障がいのある人の主体的な選択・決定への支援

基本施策② 障がいのある人への支援の充実

障がいがあっても自分らしく暮らせるよう、一人ひとりが尊重されながら、自己決定に基づいて主体的にサポートを受けられる体制づくりを進めます。就労や社会参加等の機会を増やし、孤立を防いで地域生活の安心を支える仕組みづくりを行います。

【主な取組】 ●障がいのある人への支援体制の充実 ●障がいのある人の医療費助成

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R2見込み)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	障がい福祉サービス受給者数	209人	220人	240人
②	町内グループホーム等の定員数	29人	44人	50人

【関連する個別計画】

- 日野町障がい福祉計画(日野町障がい児福祉計画) ●日野町地域福祉計画
- 日野町障がい者計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 関係者で地域共生社会のイメージを共有していくことが必要だと思う。
- 子どもの頃から障がいについて知ることが大切。
- 障がい者支援に、シルバー世代のマンパワーを活かす仕組みづくりに取り組んでもらいたい。
- 障がいや障がいのある人のことをもっと知ってもらって、地域に居場所を作っていくための取り組みをより一層進めていくことが必要。



グループホーム「のぞみ」



わたむきの里まつりの様子



20

循環型 社会

政策の柱3 安心、助け合いの暮らしづくり

政策⑥ 人と豊かな自然との共生

関連するSDGs

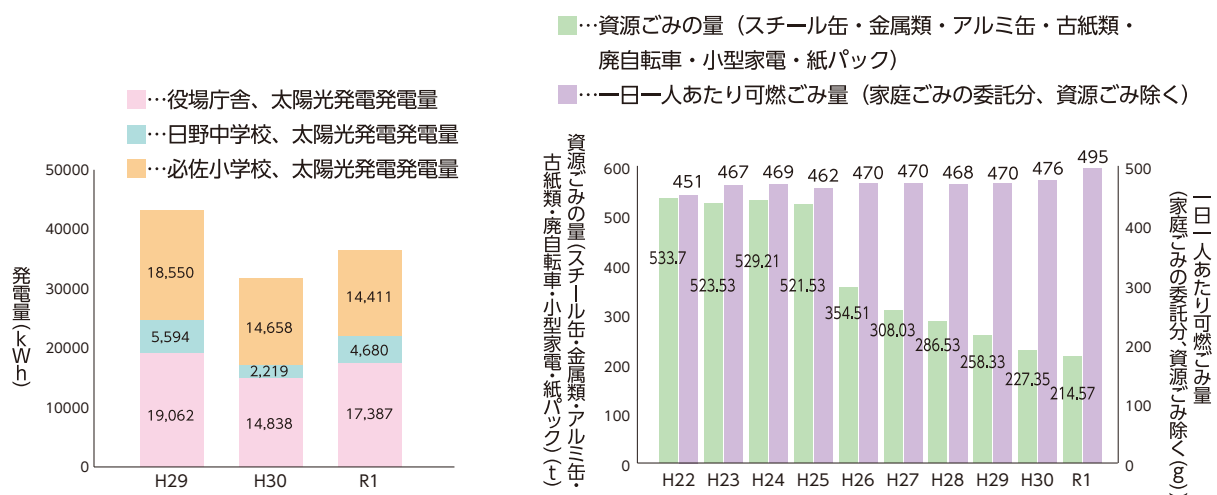


めざす姿

効率的なエネルギー利用の促進とごみの減量や資源化により、循環型社会を構築し、地球への負荷の少ない環境に優しいまち

課題

- 地球規模では、世界の平均気温の上昇が大きな問題となっており、環境負荷の大きい生産・生活の見直しが喫緊の課題となっています。本町においても、こうした世界共通の課題を身近な問題として、日常生活や事業活動の省エネルギー化および再生可能エネルギーの活用に取り組む必要があります。
- 豊かな生活環境を維持しながら、地球環境への負荷を低減するために、資源として循環利用される循環型社会への転換が求められています。大量生産・大量消費の社会の仕組みを変え、ごみの発生を減らすとともに古紙、アルミ、鉄等の有用である資源を効率的に利用する取り組みが必要です。



基本施策① 環境負荷の低減

快適で豊かな暮らしが持続可能なものとなるため、エネルギーの効率的利用に配慮した低炭素型まちづくりの構築を進め、日常生活や事業活動の省エネルギー化および再生可能エネルギーの活用、普及、啓発に取り組み、自然と生活と経済の調和がとれたライフスタイルを実現します。

【主な取組】 ●省エネルギーや再生可能エネルギーの普及、促進

基本施策② ごみ減量化・資源化

ごみの発生しないライフスタイルに努めるとともに、循環型社会の実現に向けて、資源の循環利用の徹底を図り、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組みます。

【主な取組】 ●循環型社会・3Rの実現 ●ごみの減量化の実現 ●食品ロス削減の推進

指標(めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値)

	指標	基準値(R1)	目標値(R7)	目標値(R12)
①	資源ごみの量	214.57t	200t	200t
②	一日一人あたり可燃ごみ量	495g	474g	457g

※資源ごみ・・・スチール缶・金属類・アルミ缶・古紙類・廃自転車・小型家電・紙パック

※可燃ごみ・・・家庭ごみの委託分、資源ごみを除く

【関連する個別計画】

●日野町一般廃棄物処理実施計画 ●食品ロス削減推進計画(県)

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます!

- 自然エネルギー源を活用し、低炭素社会の実現を進めていかなくてはならない。
- リサイクル等の取り組みを地域全体で取り組めるよう広くPRしていく。
- 家庭ごみの減量を引き続き徹底していくことが必要。
- 循環型社会の実現に向けて、分別などの取り組みを徹底し、リサイクル活動を町全体に広げていこう。



わたむきの里エコドーム



わたむきの里エコドーム分別の様子



わたむきの里エコドーム分別の様子



政策の柱3 安心、助け合いの暮らしづくり

政策⑥ 人と豊かな自然との共生

関連するSDGs

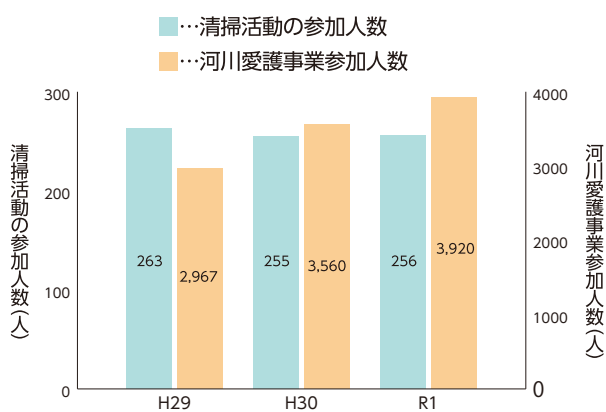
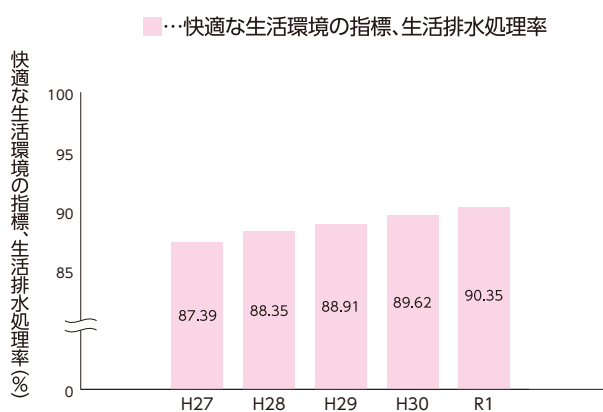


めざす姿

一人ひとりが環境保全や美化意識をもち、
豊かな自然に囲まれ、快適な生活ができるまち

課題

- 暮らしの環境を美しく保つことは、生活環境の向上のみならず、観光振興としてのおもてなしの観点からも重要視されており、引き続きモラル向上に努める必要があります。
このまちの美しい自然を次世代に継承していくために、一人ひとりが環境保全や自然共生の意識を高める取り組みが必要です。
- 快適で安全な暮らしを守るため、生活環境の保全とまちの美化、公害防止の取り組みが必要です。



清掃活動



下水道点検



中部清掃組合ごみ処理施設

基本施策① 豊かな自然環境の保全

美しく豊かな自然環境はこのまちのたからです。この環境を次世代に継承していくため、一人ひとりの環境保全や自然共生の意識が高められるよう取り組みます。

また、学校や地域、団体と連携し、子どもをはじめ幅広い年代にむけて環境学習を推進し、生物多様性への理解や環境保全の意識高揚に努めます。

【主な取組】 ●環境保全の推進 ●生物の生息環境の保全 ●環境教育の推進

基本施策② 快適な生活環境の保全

快適で安全な暮らしが実現できるよう、ごみ処理施設、火葬施設、し尿処理施設を広域行政で行い、計画的な施設整備や生活環境の保全に努めるとともに、地域美化活動の推進、公害防止にも取り組みます。

また、道路については、住民自らも地域の道路を守り、維持管理していく道路愛護の気運を高めるとともに、地域主体の道路を守る取り組みとして「道普請」を推進します。

【主な取組】 ●広域行政による効率的な施設運営の推進 ●公害や不法投棄の未然防止
●地域の道路をまもる「道普請」の推進

指標（めざす姿の実現に向けた取組状況を把握するための数値）

	指標	基準値（R2は見込み）	目標値（R7）	目標値（R12）
①	清掃活動の参加人数	R1:256人	260人	260人
②	河川愛護事業参加人数	R2:3,870人	3,900人	3,900人

【関連する個別計画】

●日野町生活排水対策推進計画

※住民の皆さんのこんな声に応えていきます！

- 町民みんなで歩道や河川の草刈り、清掃を行い、住みよい街をつくっていこう。
- 日野町に入ったら道路脇にはごみ・空き缶・瓶1つ落ちてることがなくなり、みんなに自慢したくなるようなまちになってほしい。
- 山や川、田を大切にし、自然と共生、自然を残す豊かな町になってほしい。

